

研究班便り

平成 27 年 9 月 25 日発行
神奈川県立相模原養護学校
教育研究班
第 1 号

初秋の候、皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびは相模原養護学校の教育研究の取り組みを保護者の皆様にご紹介させていただきたく、研究班便りを作成いたしました。今年度は「社会参加につながる授業づくり」をテーマとし、卒業後の生活を見据え、日々の授業の改善を目的として研究を進めております。

今回は「朝の会」の様子をご紹介させていただきます。毎日繰り返し行う朝の会の中で、児童・生徒のみなさんは 1 日の活動の見通しを持ち、自分の役割を意識し、学校生活へ臨んでいます。「子どもの将来につながる今の学び」をご覧ください。

小学部



※写真⇒1日の予定

朝の会は、一日の見通しや集団生活への参加という目的に加え、教科学習や日常生活で学んだことを発揮できる場面でもあります。例えば、文字の学習を生かして、自分の名前を判別して黒板に張ったり、数字の学習を生かして、日付けの数字を張り替えたりする活動等があります。また、子どもたちが主体的に参加できるよう、教室内の掲示物や教材には、イラストや写真を使うなど、視覚支援を活用しています。子どもたちがわかって、一人ひとりが活躍できる。そんな朝の会を目指しています。

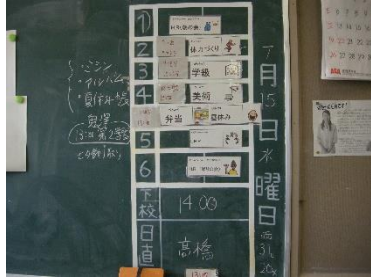
中学部



※写真左⇒プログラムカード、右⇒黒板の様子

中学部は座席を扇状にし、前方に注目できるよう配慮しています。生徒が教員の支援のもと日直を行い、多くのクラスでプログラムカードや絵カードを使うことで自分の役割を果たせるようにしています。日直の号令等で、動くことができるようになることも目指しています。黒板は視覚情報を精選し、予定に着目できるようにしているクラスが多いです。

高等部



※写真⇒黒板の様子

卒業後の生活を見据え、清潔検査や貴重品確認を取り入れ、身だしなみや貴重品管理の自覚を促しています。また、自分のことを発表する場を設定し、声の大きさや正しい姿勢等の意識づけも図っています。

今日の予定の提示方法は、生徒の特性が幅広いため各クラスで工夫した表示をしており、シンボルマークや写真を活用するクラスや文字のみのクラスと様々です。クラス全体としての支援は減らしていますが、必要な生徒へは個別に支援を行っています。生徒の主体性を尊重するように配慮しています。生徒が日直や呼名を行い、教員の見守りの中で朝の会を進めています。

分教室



※写真左⇒日直の仕事、右⇒朝の会プログラム

朝の会は、生徒が今日の予定を知るだけにとどまらず、就労を意識し、みんなに聞こえる大きな声で挨拶や発言をしたり、自分のことや最近のニュースについて発表したりする機会としています。必要な情報は自分でメモを取るような取り組みをしているクラスもあります。また、姿勢など生徒同士で気づき、言葉かけをしあえるような工夫もしています。分教室は卒業後の生活を見据え、自分で「気づく」「発信する」ことを大切にしています。

いかがでしたでしょうか？今回の朝の会の取り組みについては本校職員室廊下の掲示板に掲示しておりますので、本校にお立ち寄りの際にご覧ください。